

春のしおり

ハーティーパーティー

ハーティーパーティー春は、方針(1次案)に対して意見を寄せていただく取り組みです。この間、組合員のみなさんの意見や社会情勢などを踏まえ、2020年度事業活動方針(1次案)を作成しました。組合員のみなさんからのご意見をお寄せください。

♪ 抽選で20名様に♪

フェアトレード
コーヒー
ドリップアソート
(4種×2袋)
プレゼント!



しおりを読んで、ご意見をお寄せください
詳細は、中面のアンケート用紙をご覧ください。

ハーティーパーティー春に参加するには?

① お住まいの近くの会場へ参加 ※参加費は無料です

2月6日～3月5日にかけて、各地区会でハーティーパーティー春を開催しています。開催会場や日時など詳細は「あすーるポケット」で順次ご案内します。

② アンケートで参加

このしおりを読んで、中面のアンケートにお答えください。郵送(無料)・FAXでお送りいただくか、[パルシステム埼玉ホームページ](#)でも受け付けております。

●アンケート締切日：3月6日(金) *当日消印有効



このマークが
目印です!

[パルシステム埼玉](#)

検索

2020年度 事業活動方針(1次案)

※文中の●印は、現在調整中です。 ※注釈のつく用語は、用語説明をご確認ください。

理念 心豊かなくらしと共生の社会を創ります

ミッション 互いに支え合って安心してらせる埼玉をつくります

2020年度事業活動方針とは？

2020年度(1年間)での事業や活動における方針です。

掲載のものは、事業活動方針一次案であり、いただいたご意見をもとに検討を重ね、最終案を2020年6月に行われる総代会に提案します。

① 社会構造とくらしの変化に対応するため、次世代へ継承出来る経営と育成に取り組みます。

【経営】

- ① 供給高(*1)●●●億円を達成し、経常剰余率(*2)●●●%を目指した信頼ある経営を行います。
- ② 職員の労働安全や健康管理面等の促進を行い、雇用の安定を図ります。また、大規模自然災害等に備えた対策として、訓練及び運用の検証と見直しを行い、自然災害時の行動指針に役立てます。
- ③ 2020年ビジョンの総括を行い、組合員の声を反映しながら2030年ビジョン「10年後のありたい姿」として第28回通常総代会で特別報告します。
- ④ 次世代を担う職員への継続的な育成をつうじて、理念、ミッションのさらなる浸透につなげます。また、災害ボランティア等の要請があった場合は、意義と安全性を確認し、育成の観点から積極的派遣を行います。
- ⑤ 事業や活動情報の発信を機関誌やホームページの改修を重ねながら強化していきます。また、新たな広報手法として、動画の活用を行います。SNS(*3)などのコミュニケーション機能の導入に向けて実験展開します。
- ⑥ 内部監査での指摘を有効に生かしながら問題点の改善を適時適切に行い、自律的な経営改善の態勢を整備します。また、職場の声を収集し、職場環境の充実とコンプライアンス維持に努めます。

② 「食」から「くらし」のお役立ちまで幅広く行い、地域の「目」としても活躍できる事業に成長させます。

【パルシステム事業】

- ① 紹介試食会(プチパーティ(*4)等)の開催や、加入前に商品を実感できる「お試しセット」の広報を行い、新規組合員拡大●●●件を目指すとともに、利用をお休みしている組合員に向けて利便性の向上を再度案内し、利用組合員を増やします。
- ② CO・OP共済は、事業と活動が一体となりジュニアコースや満期継続のお知らせ等、組合員のくらしにあった保障提案を行い、CO・OP共済の保有件数●●●件を目指します。
- ③ サービス事業(*5)の広報を積極的に行い、組合員の「住まい」と「くらし」の悩み解消につなげます。
- ④ 全ての業務に安全運転を最優先し、新入協者向けの安全運転研修を強化するとともに、車載器(*6)を活用した個別指導を行い、事故の削減と道路交通法の遵守に努めます。
- ⑤ 配達時の状況を登録者にお知らせする「見守り安心サービス」(*7)の広報を定期的に行い、組合員の安心に役立てます。また、異変を察知した際の行政等との連携事例を共有し対応力を学びます。
- ⑥ 厳しい雇用確保をふまえ、将来も供給事業を安定させるために、新たな商品供給スタイルについて調査研究を行い、提示します。また、現センターの将来を見据えた物件調査を行います。

3 組合員が安全・安心を実感できる企画を行います。また、生活の中から環境を守る活動に繋がる取り組みをします。

【食の安全・安心】

- 1 事業と活動が一体となり、「ほんもの実感!」くらしづくりアクション(*8)をすすめ、パルシステムの商品づくりの価値や食育活動の理解を深める機会をつくります。
- 2 親子で参加できる、パルシステムの安全・安心を支える商品検査センター(*9)やセットセンター(*10)見学会、PB商品(*11)工場見学などを企画します。
- 3 生産者と組合員が交流する機会をつくり、顔が見える関係づくりと相互理解を深めながら、産直商品の価値を理解し利用普及をすすめます。
- 4 商品学習会や商品展示会などを通して、産地やメーカーとの交流を行い、商品を知る機会をつくります。

【環境】

- 1 組合員のくらしの中で環境意識が高まる、省エネポテンシャル(*12)を喚起する活動に取り組み、事業所や家庭でできる地球温暖化対策を推進します。
- 2 石けんの魅力を伝え、利用者を増やす取り組みを組合員活動と連携して進めます。また、食品ロス削減やプラスチック削減、3R(リデュース、リユース、リサイクル)など地球にやさしいエコライフを推進します。
- 3 こどもたちの未来のために、安全で安心できるパルシステムでんきを推進します。また、発電産地との交流を通してエネルギーづくりに懸ける想いを共感する機会をつくります。

4 組合員活動の更なる広がりをすすめながら、様々な課題に対する学びと実践の機会をつくります。

【活動と運動】

- 1 組合員活動における課題を整理しながら、活動のルールの見直しをすすめ、地域のくらしを良くするために、地域に根差した活動の更なる広がりを推進します。
- 2 未組織エリア(*13)の立ち上げ支援や、新規組合員を対象に、インターネットやメールを活用した企画を行い、組合員活動への歩みを広げます。
- 3 新たな地域活動施設の開設に向け、組合員の多い西部エリアを軸とした物件調査を開始します。北部エリアの新たな活動拠点として新熊谷センターを活用します。
- 4 助成団体や関係団体と連携し、情報発信を行いながら地域における組合員の様々な活動への参加参画につなげます。
- 5 争いがない平和な社会の実現に向けて、戦争や核兵器問題などを学ぶ機会をつくり、平和への関心を高めていきます。
- 6 東日本大震災の風化防止と復興支援の取り組みを継続するとともに、自然災害に対する防災や減災について学ぶ機会をつくります。
- 7 埼玉産直協議会『農・彩・土』(*14)での活動や里山保全活動、神川町での大豆トラスト運動(*15)など、県内の地産地消活動を推進し、埼玉の魅力を発信しながら環境保全に取り組みます。

5 各世代に寄り添った活動を展開し、共生の社会づくりを目指した取り組みを行います。

【福祉・地域貢献】

- 1 超高齢社会の課題に向き合い、健康維持や認知症予防と介護に関わる方へ向けた学習会を開催します。
- 2 支援団体と連携しながら、イベントやスポーツ等を通して、障がい者とふれあう機会をつくり、障がいへの理解を深めていきます。
- 3 親子ふれあいサロン(*16)を継続し、子育て層を対象とした企画を通して、子育て支援に取り組みます。
- 4 いきいきネットワーク(*17)の活動を充実させるための広報や学習会を行い、たすけあいの輪を広げます。
- 5 貧困問題に対し、フードバンク(*18)活動や学習支援等、困窮家庭を支援している団体と連携し、取り組みをすすめます。
- 6 急増している消費者被害を防止するため、事例や対処方法について情報発信を行います。

*1 供給高

パルシステム埼玉から組合員にお届けする全商品の総額。

*2 経常剰余率

1年間の経営活動によって得られた経常剰余金の総事業高に占める率。

*3 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

Web上で社会的ネットワーク(ソーシャル・ネットワーク)を構築可能にするサービスのこと。
例)Twitter、Facebook、instagram、LINEなど

*4 プチパーティ

組合員と組合員でないお友達が集まった場(組合員宅など)へ職員が伺い、パルシステム商品を使ったメニューを提供。実際に食べることで、パルシステムの新たな商品発見や商品のよさを実感し加入につなげるための、お友達紹介の取り組み。

*5 サービス事業

エアコン(ハウス)クリーニング、不用品整理、葬祭事業等、パルシステムの斡旋(紹介)事業。

*6 車載器

業務車両に「e-テレマティクス」(車両の危険挙動(速度超過、急加速、急減速)発生時にリアルタイムでデータ把握する機器)を設置。また、配送車両にはドライブレコーダーも合わせて設置している。

*7 見守り安心サービス

毎週のお届け時に、お伺いした際の基本情報(在宅・不在など)を指定の連絡受取者(離れて暮らす親族の方等)へメールでお知らせするサービス。

*8 「ほんもの実感!」くらしづくりアクション

3つの行動テーマ①価値を知り、選ぼう ②作り手と会おう!話そう! ③ムダなく使いこなそう!を掲げ、「消費者一人ひとりの“選択”こそが世の中を変える力を持つ」という呼びかけのもと、パルシステムの「商品づくりの基本に沿って作られた商品(=ほんもの)」の利用を広げる運動。

*9 商品検査センター

東京都稲城市にあるパルシステム独自の検査センター。商品の衛生指標菌や食中毒菌、農薬、放射能汚染、アレルギー物質の混入などを検査する。自主検査としては、「微生物検査」「理化学検査」「放射能検査」「アレルギー検査」を行なっている。

*10 セットセンター

パルシステムグループの物流センターのこと。埼玉県内には、岩槻センター(冷蔵・青果)、杉戸センター(ドライ品・パン)があります。その他、相模センター(冷蔵・青果)、新治センター(冷蔵・青果)、南大沢センター(冷凍)、八王子センター(ドライ品)、大和田センター(パン)がある。

*11 PB商品(プライベートブランド商品)

一般に自社ブランド商品のこと。パルシステムのカタログ上で **pal** マークの付いた商品は、パルシステムの独自ブランド商品(米、青果、畜産を含む)

*12 省エネポテンシャル

省エネ行動することによって期待できるCO₂削減効果、コスト削減効果等の潜在能力。

*13 未組織エリア

地区会が組織されていない地域。

*14 埼玉県産直協議会『農・彩・土』

産直産地の沃土会と南埼玉産直ネットワーク、パルシステム連合会、(株)ジーピーエス、パルシステム埼玉の5団体で設立。県内の農業と環境を守ることを目的に農業体験や交流事業を中心に活動。

*15 大豆トラスト運動

トラスト運動とは、自然環境などの保存を目的に、それらを寄贈や買取などの手段によって入手し、保全管理する運動。パルシステム埼玉では、埼玉県神川町でトラスト運動として、大豆を育てている。

*16 親子ふれあいサロン

毎週金曜日にばる★てらすにて開催している、親子を対象としたサロン。

*17 いきいきネットワーク

組合員が応援者となり、利用者宅での家事援助や育児支援など、くらしの中の困りごとに対する支援を行う制度。

*18 フードバンク

各家庭や企業の余剰から発生した食品を引き取り、品質に問題がないにも関わらず市場で流通できなくなった食品を生活困窮者や福祉施設などへ無料で提供する団体・活動。

